

幼少期のステロイド中止後 20 年を経て全身症状が再燃し半年後から日常生活へ戻った成人アトピーの経過 (47 歳女性)

症例 ID：001-40-YM2

記録日：2016 年 4 月 17 日

1. 診断・治療前経過

幼少期からアトピーがあり、症状が出るたびにステロイドを使用していました。出産後、子どもが生後半年の時に親子でステロイドを中止し、その後約 20 年間は民間療法や他院の漢方治療で過ごしました。

2013 年秋、約 10 年ぶりに全身症状が強くなり、松本医院を受診されました。症状が出る前には長引く咳に対して市販の咳止め薬を使用していました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	幼少期から皮膚症状にステロイドを使用しました。長引く咳の時期にもステロイドを含む可能性のある薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から出産後まで断続的に使用し、その後約 20 年間は使用していませんでした。
中止時期	出産後、子どもが生後半年の時です。
来院前／後	長期中止後に市販薬の使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～出産後	来院前	症状が出るたびにステロイドを使用しました。
子どもが生後半年	中止	親子でステロイドを中止しました。
その後約 20 年	長期経過	民間療法や他院の漢方治療で過ごしました。
2013 年秋	再燃・治療開始	約 10 年ぶりに強い全身症状が出て、松本医院を受診しました。
開始～約 6 か月	ピーク	全身の腫れ、痛み、浸出液、強いかゆみ、落屑、寒気、体重減少が続きました。
6 か月以降	生活変化	症状が徐々に軽くなり、普通の日常生活へ戻りました。
2016 年時点	長期経過	煎じ薬を継続していましたが、皮膚症状はほとんどみられませんでした。

4. ピーク時期

ピークは、2013 年秋の発症後約 6 か月間、全身の腫れと痛み、浸出液、強烈なかゆみ、皮膚の剥がれ、寒気、体重減少が重なった時期です。

5. 困りごと

- ・全身の腫れと痛み、浸出液が続きました。
- ・強いかゆみと落屑、寒気がありました。
- ・体重が減少し、日常生活に大きな負担がありました。

6. 経過のまとめ

発症後約 6 か月間は全身の強い症状が続きましたが、その後は皮膚状態と体調が徐々に変化しました。2016 年時点では煎じ薬を続けていましたが、アトピー症状はほぼみられず、ステロイドを使わず生活していました。